

かつきまさのり 香月正則市長 新しい風でより良い多久市に!

任期満了に伴う多久市長選挙が8月31日(日)に告示され、3人が立候補した今回の選挙戦。

9月7日(日)に投開票が行われ、香月正則氏が新たな市長に選ばれました。

今回の特集では、新たに市政を託された香月市長より、抱負と決意を申し上げます。

市長就任にあたり、 ご挨拶を申し上げます。

このたびの多久市長選挙におきまして、第9代目の市長として市政を担わせていただくことになりました。多くの市民の皆さまよりお寄せいただきました期待に応じ、なるべく粉骨砕身の努力をします。

多久市がおかれている現状は少子高齢化や人口減少をはじめ種々の課題を抱えています。これまで多久市は産炭地として炭鉱で栄えた町でありましたが最後の炭鉱が昭和47年に閉山され町の賑わいや活気が徐々になくなってきました。私が幼少期の頃はまだまだ街中に人が多くみられたのを懐かしく感じます。

多久市のこれからを進めていくために「1.住みたくなるまち」「2.子育てしたくなるまち」「3.

行きたくなるまち(交流人口増)」「4.働きたくなるまち」「5.産業の育成(商工農林)」と5つの柱を中心に、市民の皆さまが住み続けたいと実感していただける、まちづくりを目指していきます。

これまで多久市議会議員として平成23年から4期14年の間、多久市の課題について議員として伝える役割を担ってまいりましたが、これからは市長として「新しい風で多久市の明日を変える!」との思いで、これからも変わらず皆さまの元に出向き熱意をもって全力で市政運営に取り組んでいく所存でございますので、市民の皆さまのより一層のご協力とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年9月17日

香月正則